

製作遊びで感性の育成促すために

調査結果からは、「空き瓶や空き容器などで作って遊ぶ園での経験が家庭での遊びにつながっていることや、SDGsの考え方にはび付いていること」などなどが明らかになっている。

ここから、幼稚園・じゅぎゅんも園や家庭、地域において生活の中にある身近なものを利用して作って遊ぶことを通した親子の触れ合いを広げたり、限りある資源を大切にするという意識を高めたりすることで生活体験を豊かにするため、以下の三つを提言した。

**提言1 「遊びや生活の
で、身近なものと関わり、
いろいろな素材に親しん
り、作って遊んだりする
とを経験できるように遊
や環境を工夫しよう」「うう**

**提言2 「幼児期に生活
中にある身近なものを利
して作って遊ぶ大切さを
護者と共有し、親子で一緒に
に作って遊ぶことを楽しむ
るようにしよう」「うう**

**提言3 「社会実態や環
問題を踏まえ、生活の中
ある身近なものを利用す
て、親子で一緒に作って遊
ぶことを積極的に楽しめよう」「うう**

提言1では「自ら生活の中にある身近なものに関わり、いろいろな素材に親しんだり、身近なものを使って作って遊ぶことを楽しんだりできるよう援助や環境の工夫をする」「園生活の中にある身近な素材で作って遊ぶ楽しさを感じたり、遊びの中で自分のイメージを身近な素材を使い、作って表現することをなんだりできるようにする」とした。

具体的な取り組みとしては、子どもが自分なりのイ

身近な素材、親しむ工夫を
親子で楽しむ機会増やす

前年度と本年度の2年間「身近なものとの関わりを通して子どもの豊かな感性を育むための調査研究—身近なもので作って遊んで!・親子で一緒に楽しもう!」に取り組んでいる、全国国公立幼稚園・こども園長会（会長＝箕輪恵美・東京都中央区立有馬幼稚園園長、国公幼）。事業を進める特別事業委員会は前年度実施した調査の結果を基に、身近なもののとの関わりを通して子どもの豊かな感性の育成に向けた提言をまとめた。

國公幼調查·提言(下)



親子で段ボールハウスを作つて楽しむ様子=全国
キャンペーン・研修会東海北陸ブロック

り、作って遊ぶ体験が表現の幅を広げたり、表現する意欲や想像力を豊かにしたりということを実感し、「常に親子で作って遊ぶ」とを楽しめるようになる」とした。

その上で家庭でできる「近な物を使い、作って遊ぶ体験や活動を親子でやってみる機会をつくること」、「親子で身近な物を使って遊ぶ体験や活動を指導計画に位置付けて親子で作って遊ぶ機会を増やす」とが必要だとしている。

提言2では「家庭」で遊ぶ身近なものを利用して、遊べる活動を保護者に伝え、親子で一緒に触れ合いながら作って遊ぶことを楽しむ機会を増やす」「保護者が親子で作って遊ぶ機会を増やす」

また、さまざまな身近な素材や材料を使い、作って遊ぶ体験や活動について、指導計画に位置付けることでも挙げている。

イメージを表現したくなる。うな素材や材料を準備して作って遊びることを繰り返し楽しめるような環境にすることで、さまざまな身近な素材や材料で作って遊びことを繰り返し経験して楽しむように遊びや活動を工夫することを示した。

ぶことを積極的に楽しむこと、
ようにしたり、作って遊ぶことなど、
体験や活動の具体的な事例は

境問題を意識し、親子で活する中にある身近な活用して作って遊ぶ。を通じて、親子での新しい機会を広げたり、ある資源を大切にする等を高めたりできるよう

に伴う親子で触れ合う機会の減少やSDGsなど(

夫めど素るしてよ

情報遊ぶ触れ合うことの大切さや持続可能な例や方法などの情報を遊ぶ触れる限りある資源を大切にすることの重要性を感じることも求めている。

こと
れ合
限り
意識
にす
素材や材料を使い、作って
題への関心を高め、身近なも
のを使い、作って遊ぶ体験
して、社会の実態や環境問
題への関心を高め、身近なも
のを使い、作って遊ぶ体験
ることを発信したりする」とした。じうれるよつにあらわしとを
その上で、必要なじうれりを挙げている。

機会の環